

1.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念について	<p>・園の保育目標に向かって全職員が取り組んでいる。また、子どもの姿や発達状況に応じた指導計画になるように努めている。今後もPDCAサイクルを活用したカリキュラムマネジメントの実施に向けて、今年度の反省をもとに、来年度改善を園内研修等で検討していきたい。</p>
② 子どもの発達援助	<p>*最もふさわしい生活の場</p> <p>一人一人の子どものありのままを受け入れ、安心した環境の中で生活できるように心がけている。</p> <p>一人一人を観察し、スキンシップを常に心がけ、命令や禁止は少なくし、子どもの声に耳を傾けるようにした。しかし、集団を意識したため行動を急がせるような態度や言葉が多くなった。今後も保育に見通しを持ち、保育環境として場や時間の工夫を心がけていきたい。</p> <p>*保育環境</p> <p>保育・教育については、「環境を通して行う」ことの重要性を職員間でも認識しており、子どもが遊びだせるような遊び環境の工夫に努めた。室内外の環境や主体的に活動できる場の設定にはより心がけた。今後も知的好奇心を高めるような保育環境についても研修を深めたい。</p> <p>*保育内容</p> <p>「めざす子ども像」をめざし、日々の保育・教育活動の中で子どもの育ちを促すかわりを工夫している。</p> <p>*明るく元気な子ども*</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣については、個々の状況に合わせて家庭と連携をとることを心がけた。また、家庭の実態把握として学園と共同の取り組みを行い、機会あるごとに情報提供や相談体制を作っていた。 ・発達段階に応じた多様な動きを取り入れた遊びや体を動かすことを楽しいと思える取り組みにも力をいれた。また、今年度は異年齢よりも同学年の友だちとの楽しい活動、一緒だからできたと思えるつながりを意識した活動を取り入れた。 ・食育活動では、菜園で収穫したものを利用してのクッキング活動などは各年齢で十分に衛生面に配慮をして行うこと

<p>③ 保護者に対する支援</p>	<p>が出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外遊びの充実には園庭の利用を季節ごとに考えてそれぞれの年齢で十分な時間の確保を行い取り組めた。 <p>*仲良くつながることも*</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異年齢の活動を控えて、行事等も3密に考慮し交流したり、場を設定することができた。 ・ 「あいさつ」は気持ちよくできているが、いつでも、どこでもと言うわけにはいかなかった。保育者が自ら子どもたちの手本となり、あいさつや感謝の言葉は人と人の心をつなぐ素敵なスキルであることを伝え気持ちよく朝のスタートが出来るようにしていきたい。 ・ トラブルの場面では、まずは子どもの心の思いに寄り添い、自分の思いを言葉で表し、相手の思いにも耳を傾けることの大切さをその都度知らせていくように努めた。 <p>*自分で考え、すすんで行動する子ども*</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に活動できる子どもをめざし、育てたい姿を明確にし、主体性を重視した日々の保育環境の工夫に努めた。 ・ 自由に使える素材や用具などの環境は整えることはできたが、用具や材料の工夫や量の確保に課題があった。 ・ 身近な自然や動植物などに接し、子どもたちの気づきや発見を保育に取り入れ、遊びを作っていたり、発展していったが、保育者自身が人的環境として感動体験の幅を広げる努力をすることで、遊びがより充実したものになっていくのではと考える。 <p>*特別支援</p> <p>特別に支援のいる子どもに対しては、支援会議を設けてその園児の状態を全職員で共有する。クラスの中で気になる子どもに対しては、園内会議等で職員間の共通理解を行い支援方法を探った。また、保護者理解の基、連携を密にし、関係機関、医療機関との連携を取り、ともに支援方法の課題解決に向かっていった。</p> <p>*家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お便りや毎月のクラス便り、送迎時の連絡等で、今まで以上に保護者へ啓啓発し、保育・教育の理解に努めた。 ・ 年間行事予定表の配布などによりお休みを計画的にとられる保護者もあり、参観日への参加率が高かった。 ・ 事前に講演会の内容に触れ声かけをしたことで多くの参加があり、子育てへの関心の高さが伺えた。今後も協同子育てに努めたい。
--------------------	---

<p>④ 保育を支える 組織基盤</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの様子を伝えるだけでなく、子育てにとって大切なことなど、園での生活の中で気付いたことを保護者と共に考え、解決をしていく体制をとる努力をしたが十分ではなかった。 * 地域の子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> • 誰でも利用しやすい環境づくりはできている。 <p>現在は、支援センターに参加の方のみのサービスの提供になっているため、今後は地域の子育ての拠点施設としての役割を果たせるようにしていきたい。</p> * 健康・安全体制 <p>安全管理マニュアルの整備はできている。また、職員にも周知されている。各クラスの目に触れやすい場所にマニュアルを掲示している。</p> * 職員の資質向上 <p>園内研修の活性化に欠ける。各自が様々な課題意識を持ち望むことが大切。また、日々多忙で時間がとりにくい状況の中で効果的な園内研修の方法や時間の工夫を今後検討していきたい。子どもの状況から、背景や実態などを探り、問題解決に向けての取り組みがまだ不十分である。</p> * 運営・管理・社会的責任 <p>保育者自身の人権感覚を研修で深める中で磨き、子どもの最善の利益を保障できるよう、今後も人権を大切に保育に日々努めていきたい。連絡体制の対応はできている。</p>
--------------------------	---

2、今後に向けて

今年度の評価・反省を踏まえて、PDCAサイクルを活用したカリキュラムマネジメント及び記録の取り方の工夫などを工夫し新年度に向けて取り組みを行う。園内研修の内容や質を高め、教育・保育の質の向上に努めて更なる充実に努めていきたい。また、個々の自己評価が園全体の自己評価につながって行くので、日々評価シートでの振り返り、話し合いを行うことが大切であると痛感している。保育者一人一人が専門性を高め、園全体の質の向上に今後も務めていきたいと考えている。

3、こども園関係者評価委員の評価

評価項目	評価
<p>教育・保育内容全般について • 教育・保育目標や目指す子ども像に近づく取り組みがなされているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 仲間づくり、思いやり、集団のルールなどを大切にすばらしい教育実践をされていると思います。 • 年長児などは、5歳児検診、就学時検診を節目にして少しずつ出来なかった事が出来るようになっていたことは、目

	<p>標が具現化された成果ではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コロナ禍で活動が制限されたが、夏祭り、運動会、園庭遊びの充実等、形態を替えたり、新たな取り組みが始まることで、身近な場所でも楽しく、体を動かし先生、友だちとのつながりがより深まったのではないかと思います。
<p>子どもについて</p> <ul style="list-style-type: none"> • 元気でいきいきとした姿で過ごしているか • 情緒も安定し、表情豊かに過ごしているか 	<ul style="list-style-type: none"> • どの子どもも表情豊かで、こども園の先生との間に信頼関係が築けていると思います。 • 運動会、発表会など大きなイベントから、季節の行事、日々の遊び、製作において目標に向かって先生や友だちと日々取り組んでいく様子が子どもとの会話の中から垣間見ることが出来ました。「こども園は楽しい」という気持ちが伝わってきました。 • 園の中での様子はとても元気よくあいさつもできていました。友だちと関わりあいながら活動に取り組んでいたように思います。地域でもあいさつが大きな声でできると良いなと思いました。 • 参観日の場面で年長児一人一人がその日の感想を言う場面で自分が悲しかったこと、嫌だったこと、うれしかったこと、良かったこと、思ったこと、友だちへの感謝の言葉などが聞かれ、互いを認め合える関係が育っていると感じた
<p>教職員について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもに愛情と誠意をもって接しているか • 子ども一人ひとりの良さを引き出そうとしている 	<ul style="list-style-type: none"> • 課題はあるかもしれませんが、子どもの思いに寄り添いながらの保育活動を見かけることが多かったように思います。 • 連絡帳、おたより、送迎時に口頭で子どもの園での様子を詳しく教えていただきました。親は感情で怒ってしまいそうなことも先生は見守ってからどう対応しようかと考えられていたと思います。「こども園の先生、みんな好き」が答えです。
<p>地域・保護者との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域や保護者から親しみやすい園だと感じられているか。 • 地域や保護者と連携がとれているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ禍でも保護者との対話を大切にされ、子どもの情報を共有されていたように思います。こういう日常が地域向けに発信できると良いですね。 • 担任以外の先生から子どもについて保育中の様子を聞いたという信頼の声が寄せられており、アンケート結果からも園のおたより、クラスだより、総合時のお知らせなど情報交換の努力が良い関係を築けてていると感じた。 • 今年度は、感染症予防のため、地域に出かけられなかったり、保護者間の連携が難しかったと思います。 • コロナによる状況下で安全を第一とした方針により、各イベントで様々な要望がある中、一人も感染者を出すことな

	<p>く出来る工夫をもって、実行したので、保護者の理解を得られたと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月町民の方々に回覧しているこども園だよりにおいて、個人情報に考慮しつつ、今まで以上に視覚に訴えるようなおたよりを出してほしい。
<p>★その他の御意見</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ということで、新しい生活様式の条件下で安全第一に考えた運営をしてもらえたと思う。 こども園の職員は異動がないため、園外での研修に参加し他の施設の良い取り組みや職員同士の交流で意識を向上し、こども園に生かすことは大切だと思います。一方で異動がないということは、担任だけでなく一人一人の子どもやその家庭を知り関わりがあることは強みです。今後も変わらず、保護者に寄り添っていただけたらと思います。 就学時の健診時での様子とは違い、こども園の先生との関わりは集団の決まりを守りきちんと行動していることに驚きました。改めてこども園の先生の指導の力のすごさを実感しました。 委員会でも意見がありましたが、自己評価は次年度は本年度との数値比較があれば＋－どちらも意見も出やすく、取り組むべき保育内容が見えてくるのではないかと思います。 	

教職員個々の自己評価、保護者アンケートの結果なども参考にした園の評価結果や評価委員さんによる園評価でいただいたご意見等を参考に、今後の園運営に生かしていきたいと思えます。

令和3年3月31日

若桜町立 わかさこども園
園長 小林 宏 美